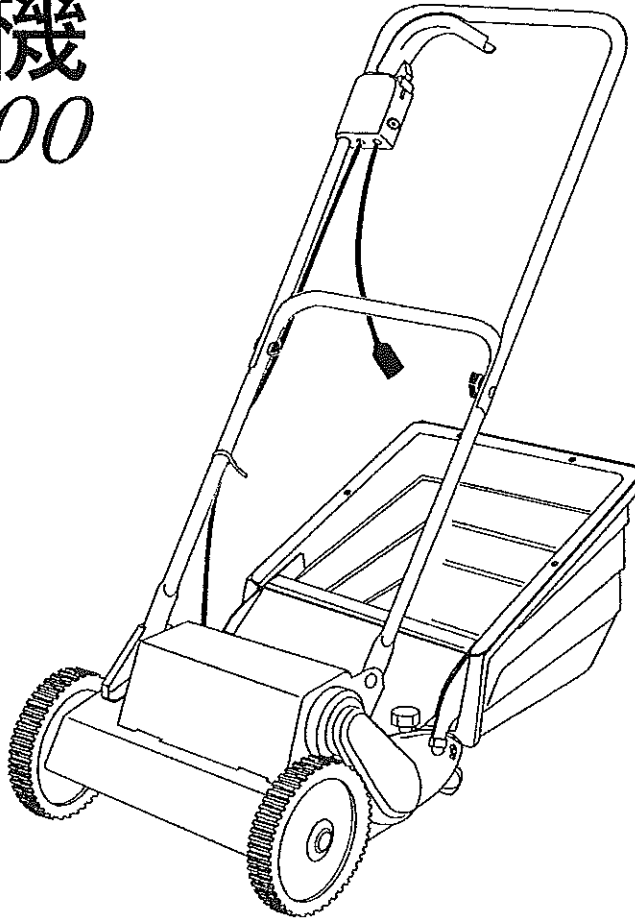


SUNBIC

サンビック芝刈機

取扱説明書

サンビック
芝刈機
SE-2800



— お買い上げありがとうございました。 —



警告

- ・この取扱説明書は、いつでも使用できる所に大切に保管してください。
- ・ご使用前に、まずこの取扱説明書をよく読まれ、本機の機能をご理解の上、正しく安全に使用くださるようお願いいたします。

目 次


	項
1. 安全にお使いいただくために	1～3
2. 危険ラベル貼付位置及び各部の名称	4
3. 仕様	4
4. 組立	5
1) ハンドルの組立	5
2) グラスキャッチャー（集草器）とキャッチャーカバーの取付方法	5
5. 作業前の点検	5
6. 作業操作方法	6
1) 刈高さ調節	6
2) 電源プラグの接続	6
3) スイッチのロック機構	7
4) ブレーカー（過負荷保護）ボタン	7
5) 刈込作業	8
7. 点検・整備・調整	9
1) 回転刃（リール）と受刃（ベツナイフ）の調整	9
2) ベルトの交換	9
8. お手入れと保管方法	10

1. 安全にお使いいただくために

この取扱説明書では『危険』『警告』『注意』の警告事項について、次のように定義しています。

▲ 危険	・ 誤った取扱いをした時に、 <u>重傷または死亡</u> につながる重大事故が発生する可能性があるとき
▲ 警告	・ 誤った取扱いをした時に、 <u>重大な傷害</u> を受ける事故が発生する可能性があるとき
▲ 注意	・ 誤った取扱いをした時に、 <u>軽傷または中程度の傷害</u> を受け、 <u>財物の損壊等</u> につながる事故が発生する可能性があるとき。

本機のご使用前に、以下の危険、重要警告及び注意事項をよくお読みいただき、理解し必ず守って下さい。

▲ 危険	重大事故が発生する場合がありますので、絶対にやめて下さい。
<p>1. <u>刃部に手足等身体を近づけない</u>で下さい。</p> <p>回転刃で手・足等身体を切断もしくは、巻き込んで重大な人身事故をまねきます。 特に、電源プラグをコンセントに差し込んでいる間は、誰も絶対に刃部に身体を近づけないで下さい。</p>	
	

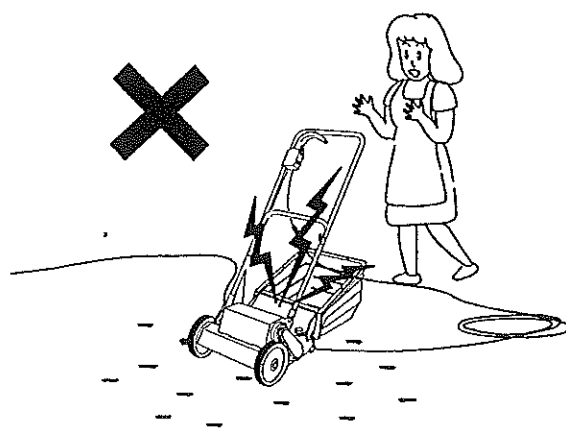
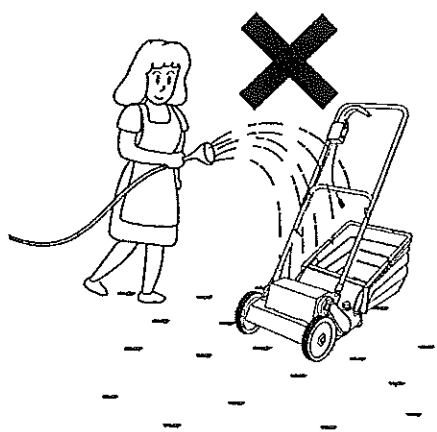
警告

人が重大なケガを負う場合がありますので、必ず守って下さい。
禁止事項は絶対にやめて下さい。

1. 芝刈作業以外には使用しないで下さい。
・特に芝刈機に、お子様や物品を乗せないで下さい。
2. 未成年の方による操作は、保護者の監督下でない限りおやめ下さい。
3. 延長コードは、屋外用 125V・7A・0.75mm²以上のコードをご使用下さい。
4. 使用前に、芝生の中の石、木片、金属片等の異物を必ず取り除いて下さい。



5. 感電の恐れがありますので、下記のような使用はしないで下さい。
 - ・雨中での作業はしないで下さい。
 - ・雨上がりや散水直後の作業はしないで下さい。
 - ・雨の中に放置したり、本機を水洗いしないで下さい。
 - ・濡れた手でスイッチレバー、電源プラグに触れないで下さい。
 - ・延長コードを本機で切断しないよう充分ご注意のうえ作業して下さい。

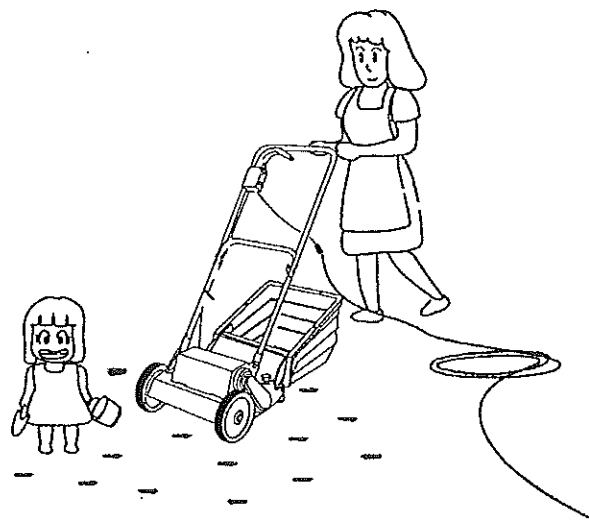


6. 次の作業は、本機のスイッチを切り、延長コードの電源プラグをコンセントから抜いてから行って下さい。
 - ・組立の時。
 - ・グラスキャッチャー（集草器）の脱着時。
 - ・刈高さの調節をする時。
 - ・回転刃に石、木片等の異物が入って異常を感じた時。
直ちに使用を中止し、スイッチを切り、電源プラグを抜いた後、異物を取り除き、回転刃、受刃等本機に異常がないか点検し、異常があれば修理して下さい。
 - ・回転刃（リール）と受刃（ベツナイフ）の調整を行う時。
 - ・ベルト交換をする時。
 - ・回転刃・受刃の交換をする時。
 - ・その他調整・点検・修理を行う時。
 - ・持ち運びする時。
 - ・使用しない時。保管する時。

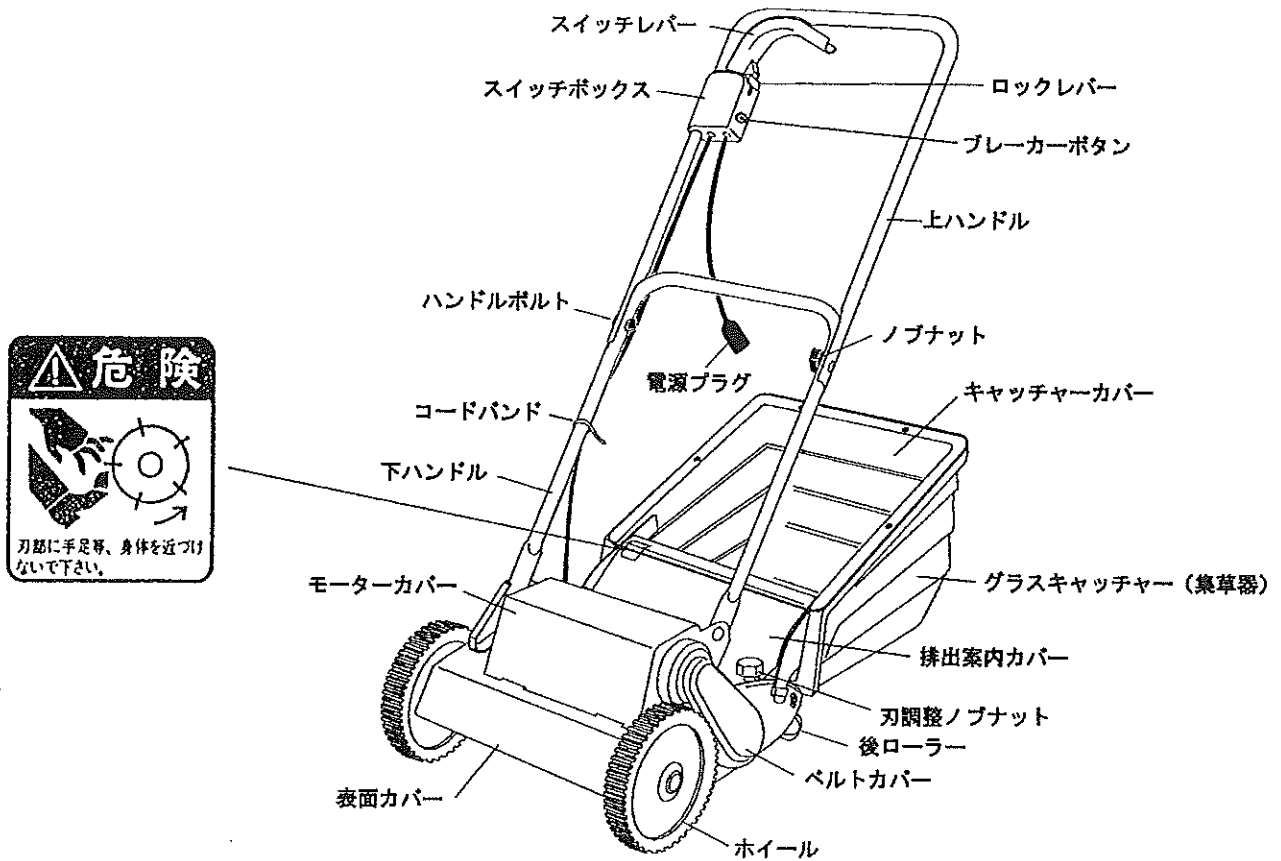
▲ 注意

人がケガをしたり、物が壊れたりする原因となりますので、充分ご注意ください。

1. 使用前に本機の調整箇所及び、組立方法を確認してください。
 - ・各部のネジに緩みがないか、各部品に損傷がないか、正常に作動するか充分点検して下さい。
 - ・本機の組立を適切に行ってください。
 - ・刃調整を適切に行ってください。
 - ※ 異常があった場合は、直ちに使用を中止し、適切な調整・修理を行ってください。
2. 使用中は、他の人や動物を近づけないようにして下さい。
3. 本機の操作方法をご存じない方又は、理解できない方には操作させないで下さい。
4. 濡れた芝を刈らないで下さい。
 - ・感電の恐れがあるばかりでなく、サビなど芝刈機の故障の原因となります。
5. 本機の組立・点検・調整及び、回転刃、受刃の交換などを行う場合は、必ず手袋を着用して下さい。
6. 操作時は常に安全に注意し、作業に適した服装をして下さい。
 - ・だぶついた服はさけ、作業に適した服装に目を保護するゴーグルや、滑りにくい靴・ゴム手袋を着用して下さい。
7. 傾斜面等、不安定な場所での作業及び、本機を放置しないで下さい。
 - ・ハンドルを立てた状態では倒れやすく、転倒の恐れがあります。
8. グラスキャッチャー(集草器)、表面カバー、モーターカバー、ベルトカバー、排出案内カバー等部品を外した状態で使用しないで下さい。
9. 使用後は必ずお手入れをして、湿気の少ない所に保管して下さい。
 - ・サビが発生したり、刃が切れなくなる場合があります。
10. 使用後は、お子様の手が届かない、鍵のかかる所に保管して下さい。
11. 収納する時は、ハンドルを外すか、倒れても危険のないようにして下さい。
12. 本機の修理は必ずお買い求めの販売店へお申し付け下さい。
 - ・本機に異常を感じた時は、ただちに作業を中止して下さい。
 - ・当社指定のサービスマン以外、取扱説明書の説明以外の分解修理及び改造は行わないで下さい。
13. サンビック純正の部品、付属品を使用して下さい。
 - ・本機指定の純正部品以外、使用しないで下さい。



2. 危険ラベル貼付位置及び各部の名称



組立完成図

3. 仕様

型 式	SE-2800	刈 込 幅	280mm
定 格 電 圧	AC100V	設 計 刈 高 さ	15、22、28mm
定 格 周 波 数	50/60Hz	弊社テストグリーン 実 測 刈 高 さ	約10、17、23mm
定 格 消 費 電 力	390W	刈 込 能 力	約490m ² /時間
定 格 時 間	連続	本 体 寸 法 (L×W×H)	約925mm×409mm×800mm
刈 込 方 法	リール式 (5枚刃)	重 量	約12kg
付 属 部 品	グラスキャッチャー (1個)、キャッチャーカバー (1個) プッシュリベット (4本)、ノブナット (2個)、ハンドルボルト (2個) コードバンド (1本)		

※ 本仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

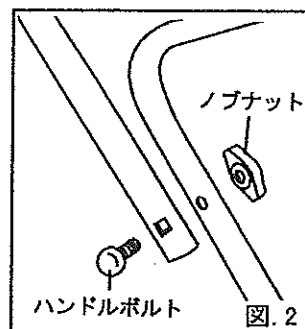
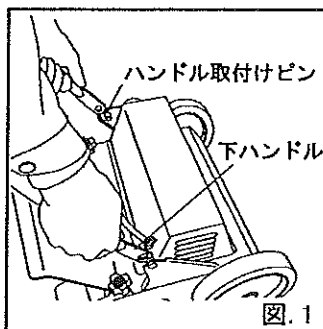
4. 組立

▲ 注意

- ・グラスキャッチャーを持ち運びされる際は、必ず両手でキャッチャー本体をお持ち下さい。
- ・片手でカバー部分だけを持ち上げると、カバーが破損する恐れがあります。

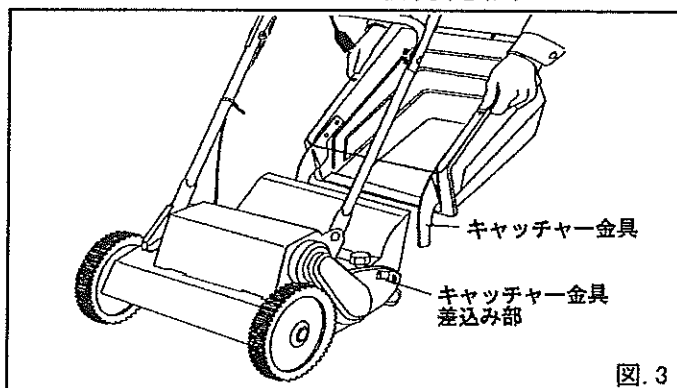
1) ハンドルの組立

- (1) 下ハンドルを本機上部のハンドル取付ピンにはめ込みます。
- (2) 上ハンドルをスイッチボックスのマークが前側になるように下ハンドルに取付けます。(4ページの組立完成図を参照して下さい。) この場合、ハンドルボルトは外側から入れ、ノブナットで締付けて下さい。



2) グラスキャッチャー（集草器）とキャッチャーカバーの取付方法

- (1) 本機後ろにあるキャッチャー金具差込み部にキャッチャーを取付けます。
- (2) キャッチャーカバーの取付は、グラスキャッチャーの穴とキャッチャーカバーの穴とを合せ、プッシュリベットで取付けます。(4ヶ所)



キャッチャーカバー取付方法

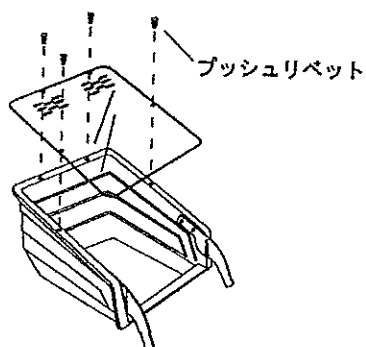


図. 4

プッシュリベット取付方法

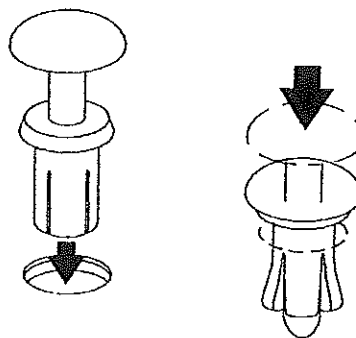


図. 5

5. 作業前の点検

▲ 注意

- ・使用前に本機の調整箇所及び、組立方法を確認して下さい。異常があれば、直ちに修理して下さい。

- (1) 各部のネジに緩みがないか、各部品に損傷がないか、正常に作動するか充分点検して下さい。
- (2) ハンドル、グラスキャッチャー等本機の組立を適切に行ってください。
- (3) 刃調整を適切に行ってください。
- (4) 延長コード、電源プラグなど電線が熱をもったり、断線がないか確認して下さい。
- (5) 本機が熱をもったり、その他異常がないか確認して下さい。

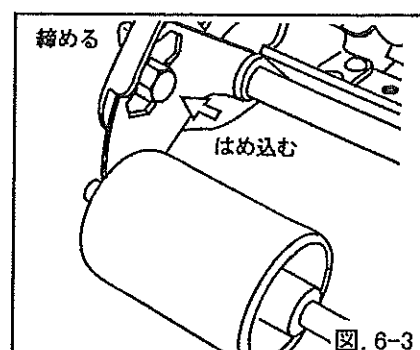
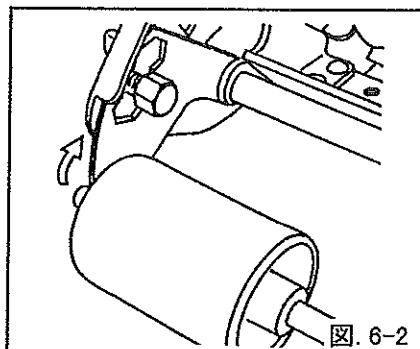
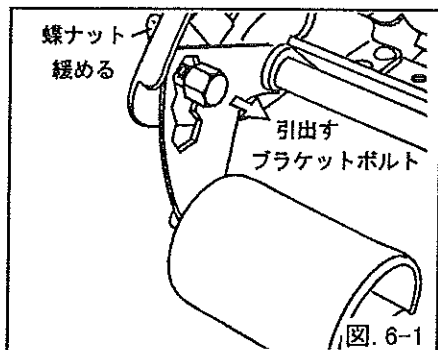
6. 作業操作方法

1) 刈高さ調節

⚠ 警告

・刈高さ調節をする時は、必ず延長コードの電源プラグをコンセントから抜いてから行って下さい。

- (1) 芝生の長さによって刈取り高さを定めますが本機は、15、22、28mmの3段階の調節ができます。芝生が伸びすぎている場合は、最初から短く刈る事はできません。芝生を傷めますので2度、3度と日を置いて順次刈込むようにして下さい。
- (2) 調節方法は、本機後ろにある蝶ナットを緩め、ブラケットボルトをはめ込み、蝶ナットでしっかり締付けます。必ず左右同じ高さ位置に合せて下さい。



⚠ 注意

・長く伸びた芝生を刈取る場合は、最初刈高さを高くし、順次高さを低くして刈込んで下さい。最初から短く刈込むと、芝刈機の故障の原因となるばかりでなく、大切な芝生も傷めます。



2) 電源プラグの接続

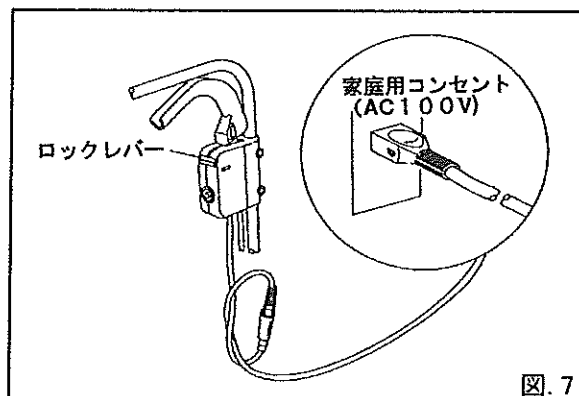
⚠ 警告

・延長コードは、屋外用 125V・7A・0.75mm²以上のコードをご使用下さい。

⚠ 注意

・必ず家庭用コンセント (AC100V) をご使用下さい。エンジン発電機等を使用されますと、本機の故障の原因になります。

- (1) ロックレバーがロックになっているのを確認後、本機側電源プラグと延長コードのプラグを接続して下さい。
(この時、軽く結んでおくと使用中、簡単に抜ける事はありません。)
- (2) 延長コードのプラグを家庭用コンセント (AC 100V) に差込んで下さい。

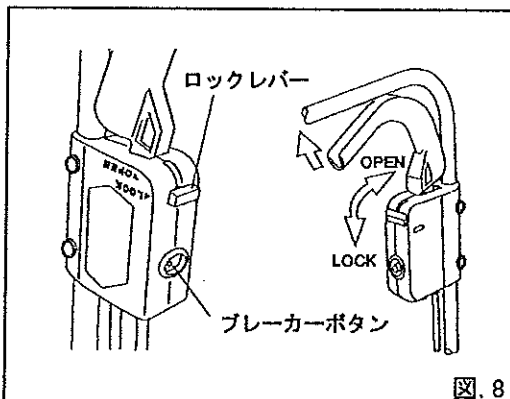


3) スイッチのロック機構

警告

・スイッチが切れても、回転刃の回転はすぐに止りません。点検・調整時には、回転刃の回転が止っている事を確認し、延長コードの電源プラグをコンセントより抜いて行って下さい。

- (1) 本機は、スイッチロック機構が備えてあります。使用時はロックレバーを“OPEN”にします。
- (2) スイッチはスイッチレバーを矢印の方向へ握っている時だけ「ON」となり回転します。離すと「OFF」になります。
- (3) ロックレバーを“OPEN”にしたままグラスキャッチャーの取付け、取外し等を行った場合に身体の一部がスイッチレバーに触れ、不意に回転刃が回ることがあり大変危険です。



警告

・芝刈作業中以外は必ず、ロックレバーを「LOCK」にし、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。

4) ブレーカー（過負荷保護）ボタン（図. 8）

警告

・芝刈機に詰まった芝生・雑草・異物を取り除く時は必ず延長コードの電源プラグをコンセントより抜いて下さい。

- (1) 作業中、モーターに異常負荷がかかると、ブレーカーが作動して自動的に電源が切れます。
- (2) すぐにスイッチレバーから手を離してスイッチを切り、延長コードの電源プラグをコンセントより抜いて下さい。
- (3) 異常負荷の原因である回転刃に詰まった芝生・雑草・異物や排出口付近にある芝生・雑草等を取り除いて下さい。
- (4) 約30秒以降にブレーカーボタンを押し延長コードの電源プラグをコンセントに差込み、動作確認を行ってから作業を再開して下さい。

注意

・下記の様な無理な作業を続けられますとブレーカーの作動とは関係なくモーターが焼損（故障）する可能性があります。

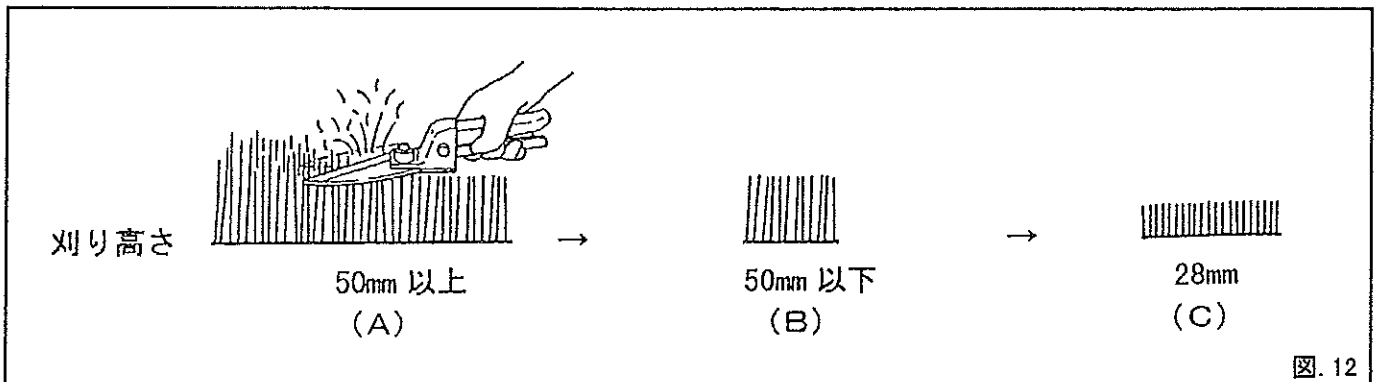
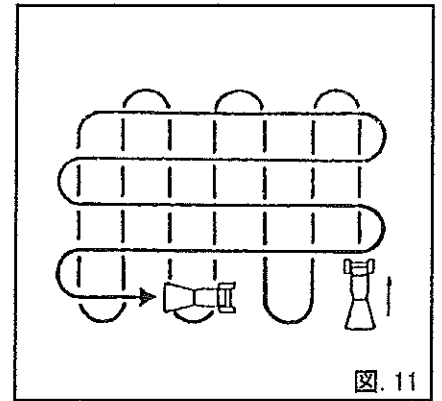
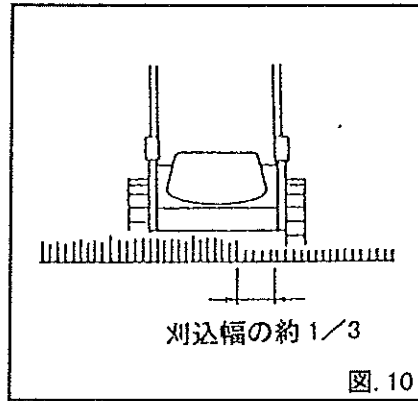
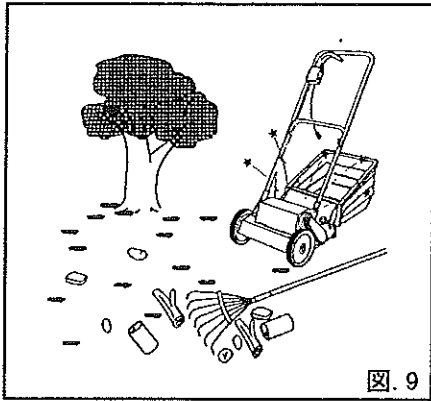
- 1) 刃の摺り合せ調整が強すぎる時。
刃の調整を行って下さい。(P-9 参照)
- 2) 長く伸びすぎた芝生を一度に低く刈られる時。
芝生をある程度の高さまで刈払機・芝生鋏・鎌等で刈込んで下さい。(P-8 参照)
- 3) リールの回転が停止する様な速度での芝刈作業。
芝刈作業は1mを4秒ぐらいで進むのが目安です。
- 4) 芝生の中の石・木片・金属片等の異物がある時。
芝生の中の異物を取除いて下さい。

5) 刈込作業

⚠ 注意

- ・長く伸びた芝生を刈り取る場合は、最初刈高さを高くし、順次高さを低くして刈込んで下さい。
- ・最初から短く刈込むと、芝刈機の故障の原因となるばかりでなく、大切な芝生も痛めます。

- (1) ご使用前に、芝生の中の石、木片、金属片等の異物を必ず取除いて下さい。
※作業中に本機回転刃が石などに当たった時は、直ちに作業を中止し、スイッチレバーを離し、延長コードの電源プラグをコンセントより抜き、回転刃が停止していることを確認してから、刈刃に割れ、欠けなど異常の有無を点検して下さい。
- (2) 芝刈機の刈込幅を全部使わないで、常に刈込幅の約1/3程度重複して刈れば、平らにしかもきれいに刈れます。
- (3) 一通り刈り終えますと、今までと直交する方向で刈込めば、刈り後がきれいになります。
- (4) 50mm以上長く伸びた芝(A)を刈る場合は、予め刈払機・芝生鋏・鎌等の道具を用いて50mm以下になるように下刈(B)を行なって下さい。次に、本機の最大刈高さ28mmで刈込んだ後(C)に希望の高さで刈込んで下さい。



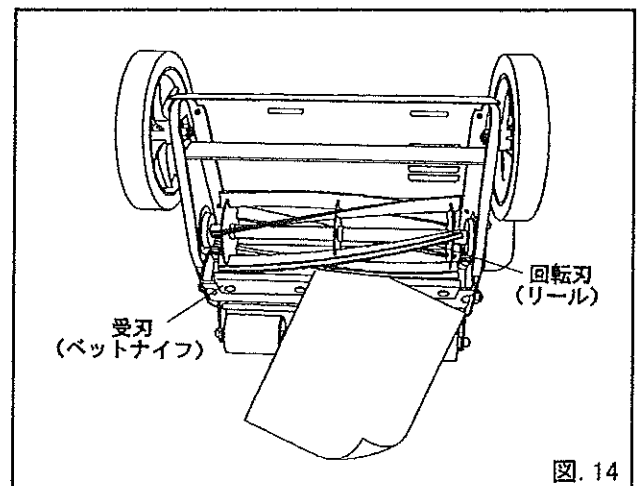
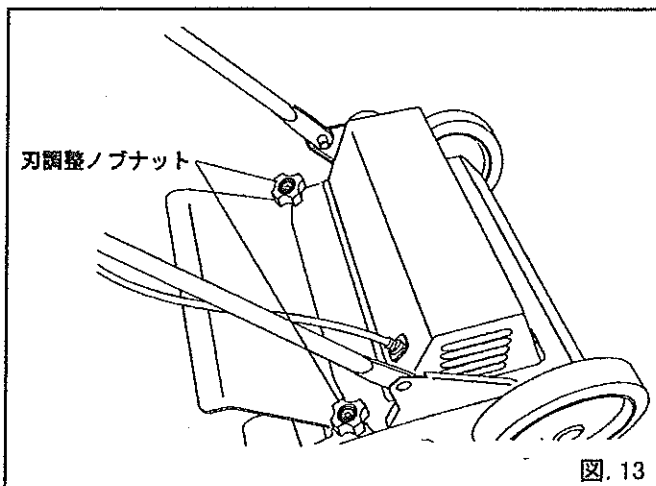
7. 点検・整備・調整



- ・点検・整備・調整を行う時は、必ず延長コードの電源プラグをコンセントより抜き回転刃が停止している事を確認した後に行ってください。
- ・点検・整備・調整を行う時は、必ず防塵メガネ・手袋を着用して下さい。

1) 回転刃（リール）と受刃（ベットのナイフ）の調整

- (1) 最初の運転には、運送中などに調整が変わっている場合がありますので、点検・調整して下さい。芝刈作業前には、必ず刃の調整を行なって下さい。
刃の調整は、本機上部の刃調整ノブナットを右に回し（締める）、または、左回し（緩める）する事により調整します。
- (2) 刃の摺り合わせの調整は、必ず左右平均に僅かに摺り合う程度とし、摺り合わせ音が全く出ない時は回転刃と受刃の間に隙間があり、全く切れません。又強すぎると刃物の寿命を短くし、機械に負担がかかり過ぎ故障の原因となりますのでご注意ください。
- (3) 正しい調整とは多少の接触音を出し、受刃との間に新聞紙を入れ回転刃を回して切れる程度です。



2) ベルトの交換



- ・ベルトの交換をする時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行って下さい。

- (1) 点検・交換は、スイッチボックスのロックレバーを“LOCK”にし、電源プラグを抜いて安全を確認してから行って下さい。
- (2) ベルトカバーを取外し、ベルトに亀裂などの損傷などがみられる場合は、お早めに交換して下さい。
- (3) ベルトの取付けは、まずモータープーリー（小形）にベルト山数の半分をかけ、同じようにリールプーリー（大型）の一部にベルトをかけて、リールプーリーを廻します。
- (4) リールプーリー側のベルト山数の半分が完全にかかれば、モータープーリー側の前山数がかかるまで、モータープーリーを回転させながらベルトを移動させて下さい。
- (5) 次にリールプーリー側も同様にして全山数をかけて下さい。
- (6) ベルトの全山数がかかれば、2～3回リールプーリーを回転させて下さい。
- (7) 点検・交換後は、ベルトカバーを完全に取付けて下さい。

8. お手入れと保管方法

▲ 注意

1. 使用しない時は、必ず本体のスイッチを切り、延長コードの電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
2. 本体・グラスキャッチャー・ハンドルなどを乾布でよく掃除し、金属部分は油布で手入れをして下さい。
※ガソリン・シンナー・ベンジン等は使用しないで下さい。
3. 掃除の後、日中によく乾燥させて下さい。
4. 雨の中に放置したり、本機を水洗いしないで下さい。
5. 回転部に機械油を注油して下さい。
6. 回転刃、受刃は、特によく掃除の後、サビないように油拭きをして下さい。
7. 損傷箇所がある場合は必ず修理してから格納して下さい。
8. 使用後は、お子様の手の届かない鍵のかかる所に保管して下さい。
9. 使用後は必ずお手入れをして、湿気のない、ゴミ、ホコリの付かない所に格納して下さい。
10. 格納する時は、ハンドルを外すか、倒れても危険のないようにして下さい。



製品に関するご質問、
お問い合わせは…

金星園芸工業株式会社

〒675-1334
兵庫県小野市大島町743
TEL 0794-62-2185
FAX 0794-62-2187

3491-0202Z